

大日本スクリーン、「EQUIOSNET パートナーシッププログラム」を発表 ～「EQUIOSNET」による多彩な印刷ソリューションを展開～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)はこのたび、昨年の「drupa 2008」で発表した新たなワークフローコンセプト「EQUIOSNET(イクオスネット)」をより具現化するため、「EQUIOSNET パートナーシッププログラム」を開始。プリプレスワークフロー「Trueflow SE」の最新バージョンなどとともに、9月11日(金)から16日(水)までアメリカ・シカゴで開催される「PRINT 09」、および10月6日(火)から10日(土)まで東京・有明の「東京ビッグサイト」で開催される「JGAS 2009」に出展します。

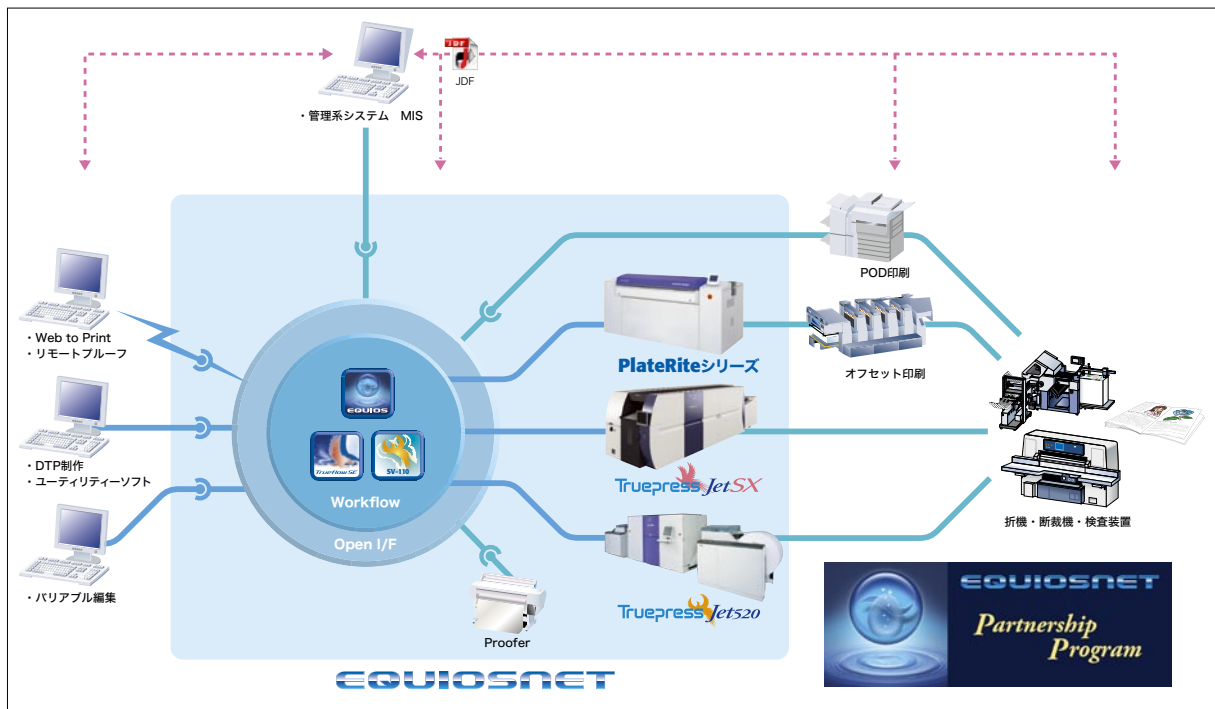
今回発表した「EQUIOSNET パートナーシッププログラム」は、CIP4の技術成果をビジネス面から活用する独自の戦略的プログラムとして構築。当社が「EQUIOSNET」で提案する各種印刷を実現するため、オープンインターフェース(当社ワークフロー製品との標準化された接続環境)を使用し、パートナーベンダー各社とのコラボレーションにより、さまざまな印刷ソリューションをビジネスとしてお客さまに提供します。同時に、接続環境の開発支援をはじめ、展示会やWebサイトなどを活用した共同プロモーションなど、パートナー各社のビジネス拡張にも貢献します。

また、「EQUIOSNET」の中核を担う、「Adobe PDF Print Engine® 2」を搭載した「Trueflow SE」の最新版「Trueflow SE Ver.7」を、2009年9月末に全世界同時リリース。将来のCTPとPODの統合ワークフローの実現に向けた開発の第1弾として、新たなジョブフローを提供する「EQUIOS-Pre4m(イクオス プリフォーム)」を搭載します。JDFに準拠した折りカタログの採用により、後加工を考慮した面付けの作成が可能のほか、出力デバイスの変更などに伴う急な面付け変更にも柔軟に対応。JDF連携や後加工機との連携の強化により、プリプレスワークフローの業界標準となった「Trueflow SE」の機能が、印刷製版工程の自動化・効率化に向け、さらに充実しました。

このほか、明日6月16日(火)の名古屋を皮切りに全国13会場で開催する、株式会社メディアテクノロジー ジャパン主催の「トレンドセミナー 2009」では、「JGAS 2009」への出展に先立って、「EQUIOSNET」による各種ソリューションをはじめ、「Trueflow SE Ver.7」や最新のPODに関する情報、またアドビ システムズ社とのコラボレーションによる最新トピックスなどをご紹介します。

当社は、今回スタートする「EQUIOSNET パートナーシッププログラム」の推進により、PODへの流れが加速する印刷業界における新たなブランドの構築と強化を目指すとともに、顧客のさまざまなニーズに応える印刷ビジネスを提案し、国内外の印刷業界の発展に寄与していきます。

* Adobe、Adobe PDF Print Engineは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。



EQUIOSNET パートナーシッププログラムの全体像

☆ この画像の印刷用データ (解像度300dpi) は、下記 URL よりダウンロードできます。
 (www.screen.co.jp/press/nr-photo/)